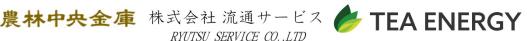




RYUTSU SERVICE CO..LTD



2025年10月28日 野村不動産株式会社 JA三井リース株式会社 JA三井エナジーソリューションズ株式会社 農林中央金庫 株式会社流通サービス TEA ENERGY 株式会社

営農型太陽光発電にかかるバーチャル PPA 契約締結について ~再生可能エネルギーの拡大と持続可能な農業の両立を目指す~

野村不動産株式会社(代表取締役社長 松尾大作、以下「野村不動産」)と茶畑ソーラー合同 会社は、茶畑ソーラー合同会社が静岡県内に設置を予定する営農型太陽光発電所 1.8MW (DC) 1 において 20 年間のバーチャル PPA 契約 2 を締結しましたのでお知らせいたします。

茶畑ソーラー合同会社は、JA三井リース株式会社(代表取締役社長執行役員 新分敬人)の 100%子会社であるJA三井エナジーソリューションズ株式会社(代表取締役社長 阿久津真吾)、 農林中央金庫(代表理事理事長 北林太郎)、株式会社流通サービス(代表取締役社長 服部 吉明) および TEA ENERGY 株式会社(代表取締役社長 間渕教太)の 4 社が出資し 2025 年 8月に設立した特定目的会社です。

1. 事業概要

茶畑ソーラー合同会社が静岡県内の茶畑で「営農」と「発電」を両立させた営農型太陽光発電所 1.8MW(DC)を開発し、野村不動産は、この発電所から創出された追加性³のある再牛可能エネル ギー電力の環境価値をバーチャル PPA 契約にて全量購入します。買い取り額の一部は営農委託報酬 や農地賃借料として地域へ循環され、営農者の所得向上とともに、地域の農業基盤の維持・拡大に繋 がります。本事業は茶畑ソーラー合同会社として PPA 契約を締結する第一号案件であり、野村不動産 としては初のバーチャル PPA 採用となります。

^{1 1.8}MW(DC): 一般家庭約 550 世帯の年間使用電力に相当。

² PPA: Power Purchase Agreement (電力販売契約)の略称。

バーチャル PPA: 発電された電力の直接的な購入ではなく、再生可能エネルギーが持つ「環境価値(発電時に CO2 を排出しないと いう付加価値)」のみを金融的な取引を通じて購入すること。

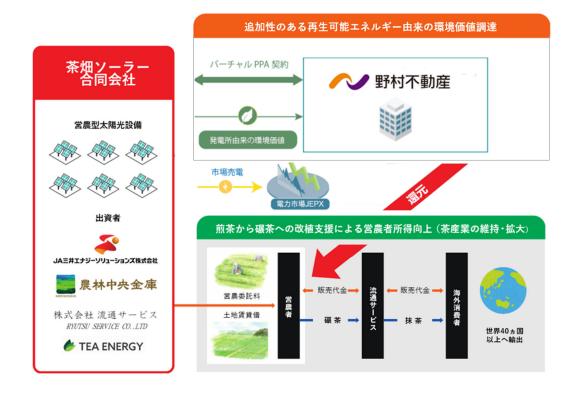
³ 追加性:企業による再生可能エネルギー電力の調達が新たな再生可能エネルギー発電設備の建設や運転を促進すること。

2. 背景

国内煎茶消費量の低下にともなう価格の下落、生産農家の高齢化や後継者不足の深刻化などを 背景に、静岡県の茶産業は離農が加速しており、茶生産量の減少とともに耕作放棄地が拡大していま す。一方、抹茶は欧米を中心とした海外市場での健康志向の高まりと、日本の食文化への関心の高ま りから需要が旺盛となっており、日本の茶産業の維持・拡大にとって重要な輸出産品となっています。

本事業では抹茶の原料である碾茶の栽培において必要な「遮光用の棚」として「営農型太陽光発電設備」を活用し、地域の農業と共存する形で「営農」と「発電」を両立します。また茶畑ソーラー合同会社に出資する 4 社が連携することで、碾茶の生産拡大から販路確保まで、営農者を一貫して支援します。

<事業概要図>



<実際の生産現場風景>

<営農型太陽光発電設備を活用した碾茶被覆栽培>





3. 各社の取組み

<野村不動産グループ>

野村不動産グループは、2050年のありたい姿としてサステナビリティポリシー「Earth Pride・地球を、つなぐ-」を策定し、2030年までの特に取り組むべき重点課題(マテリアリティ)の一つに掲げる「脱炭素」への対応として、建物開発を通した「省エネ」・「低炭素化」、「再エネ」による GHG 総排出量の削減を推進し、サプライチェーンにおけるパートナーと共同での CO2削減施策等を通して、脱炭素社会の実現に向けて貢献してまいります。

<JA三井リースグループ>

J A 三井リースグループでは、経営理念「Real Challenge, Real Change」に掲げる「より良い社会と未来」に向けてサステナビリティ経営を推進しており、持続可能な社会の実現に向けて、企業活動を通じた社会課題の解決に取り組んでいます。今後も金融から事業投資・その他関連ビジネスにグループとして一気通貫で取り組むことで、再生可能エネルギー関連領域を拡大し、地域課題の解決に向けた取組を進めてまいります。

<農林中央金庫>

農林中央金庫は、「持てるすべてを『いのち』に向けて。~ステークホルダーのみなさまとともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます~」をパーパス(私たちの存在意義)として定めています。このパーパスのもと「地域環境・社会・経済へのインパクト創出」や「農林水産業・地域の持続的な発展」といった 2030 年ありたい姿の実現に向け、取組みを進めてまいります。

<流通サービス>

流通サービスは、「茶畑から食卓までの安全を保障する持続可能な農業経営」を理念に掲げ、日本の茶文化と安心・安全なお茶を世界に届ける企業です。長年にわたって抹茶の国際展開に注力し、独自に海外市場を開拓してきました。現在では 40 か国以上への輸出実績を持ち、安定した供給体制と品質管理を確立しています。これからも日本の伝統と農業の価値を守りながら、持続可能な形で世界へ発信し続けてまいります。

<TEA ENERGY>

TEA ENERGY は、茶園と太陽光発電を組み合わせた事業モデルを通じて、環境負荷を抑えながら収益を創出する新たなエネルギーソリューションを提供しております。

海外向けの碾茶生産と再生可能エネルギーの普及を両立させることで、地域経済の活性化および SDGs の達成にも貢献してまいります。今後も、農業を基盤とした環境保全と再生可能エネルギーの調和を追求し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

5 社は今後も、静岡県内の茶生産における「営農」と再生可能エネルギーの「発電」を両立させ、地域課題の解決と再生可能エネルギーの供給を通じた脱炭素化に貢献してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

野村不動産株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL: 03-6381-7244

J A 三井リース株式会社 コーポレートコミュニケーション室 TEL: 03-6775-3002

J A 三井エナジーソリューションズ株式会社 開発営業部 TEL: 03-6775-3020

農林中央金庫 経営企画部 広報コミュニケーション班 TEL: 03-6362-7172

以上